

かじき 図書館だより

平成29年度
11月号
TEL 62-2605



第71回 読書週間 10/27～11/9
標語「本に恋する季節で」

今月の展示

○夫婦や家族に関する本
○心と体が温まる料理の本
○ぽかぽかお風呂の絵本
秋も深まるこの時期、図書館で
のんびり・ゆっくりとした時間を過ごしません

* 今月のおはなし会 *

11月25日(土) 10:30～

わらべうた、手あそびうた、絵本や季節のおはなしなど、毎月もりだくさんの内容でおこなっているおはなし会です
どなたでもお気軽にご参加いただけます。

○新着図書を紹介

一般書

- * アナログ
- * 守教(上・下)
- * 小説写真甲子園
- * きつと嫌われてしまうのに
- * おしゃべりな銀座
- * サラリーマン大喜利
- * 100歳まで元気であるための歩き方&杖の使い方
- * 闘え！高専ロボコン
- * おじさん酒場
- * 人気プロガー・横着じいさんのかんたん水耕栽培決定版
- * 昭和と師弟愛 植木等と歩いた43年
- * オーケストラ解体新書
- * 図説日本の文字

- ビートたけし
- 帚木 蓬生
- 菅原 浩志
- 松久 淳
- 銀座百点
- 水野 敬也 岩崎 う大
- 西野 英行
- 萱原 正嗣
- 山田 真由美
- 伊藤 龍三
- 小松 政夫
- 読売日本交響楽団
- 今野 真二

児童書

- * あのとこのカレーライス
- * くもさんおへんじどうしたの
- * 魔女たちのパーティ
- * ジャック・オー・ランド
- * てんこうせいはワニだった！
- * よくわかるLGBT
- * 冬眠のひみつ
- * なぞなぞアンデルセン
- * 中学生の悩みごと

- きむら ゆういち
- エリック・カール
- ロンゾ・アンダーソン
- 山崎 貴
- おの りえん
- 藤井 ひろみ
- 近藤 宣昭
- 石津 ちひろ
- 高濱 正伸

乳幼児向け

- * ぼくのおとうさんとおかあさん
- * どーこだどこだ

- みやにし たつや
- カズコ G.ストーン

加治木図書館、特別資料整理期間休館のお知らせ

休館期間 11月28日(火)～12月8日(金)

上記の期間、加治木図書館は所蔵している蔵書の点検や館内整理のため休館となります。みなさまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご了承くださいませようお願いいたします。
なお、中央図書館及び蒲生図書館等各図書室は、通常通り開館しております。

※ 中央図書館の特別整理休館期間は11月8日～11月24日

「せごどん」コーナー

NHK大河ドラマの放送をひかえた西郷隆盛<せごどん>に関する本を、新着本棚の下2段に全てまとめました。少しでも気持ちよく読んでいただけるよう、古い本の表紙カバーなどもきれいに整えて、全てコーティングシートでラッピングしました。この機会に、ドラマと合わせてお楽しみください！

あいらむかし昔

毓英館 (いくえいかん)

毓英館は天明4年(1784年)、学を好んだ当時の領主島津久徳が郷内の子弟に学問を授け知徳を高め有為の人材を養成するために創立した、加治木における学校教育の始祖となるものである。はじめ反土竹下の愛宕神社前、当時緑荷園と称した久徳の苑園地の西側に建てられた。毓英館創設当時は、学校と名のつくものは大きな藩にひとつほどあっただけで、薩摩藩では造士館だけであった。このように加治木は他の町より先に学校が出来たことでいかに文教を重視したかが分かる。これを誇りとし、後に「文化と教育の加治木町」と宣言したのもいかにもだといえる。久徳の死後一時廃絶の姿となるも当時の領主久徳が深く憂え、新納時成(仲左衛門)がその意をうけ挽回に尽力し安政年間に仮屋馬場のいまの検察庁の敷地内に再興、明治維新を迎えた。戊辰の役において北越・函館などで死力をつくして戦い褒賞を受けた110余名の壮士は皆当館で教えを受けた者たちであった。明治3年学則制定により毓英館の名は消え第七郷校となり、明治8年には柁城小学校と改称された。柁城小校門前の郷賢創立百五十年記念碑文には毓英館記がある。またいまも愛宕神社前には毓英館跡として史跡が残っている。参考資料:『加治木風土記』 加治木町老人クラブ連合会

11月のカレンダー

11月のカレンダー						休館日
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

3日・・・祝日休館日(秋分の日)

図書館フェスティバル(中央図書館)

23日・・・祝日休館日(勤労感謝の日)

24日・・・資料整理休館日 25日・・・おはなし会

28日～12月8日・・・特別資料整理休館日



始良市立図書館ホームページ
(<http://lib-aira.jp/>)

でも図書館の情報を発信しています。